



日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは こうへい 山田耕平 です

2022.1.1 No.432

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>

## 2022年 新しい年の幕開け 区民が主人公の杉並区政の実現を目指して

### 杉並区民の命と健康 暮らしを守る区政を!

2022年の新しい年が幕を開けました。今年もよろしくお願ひします。

日本共産党杉並区議団は、本年も杉並区民の命と健康、暮らしを守る取り組みに全力を尽くす決意です。

コロナ禍のもと、住民生活の守り手となるのは基礎自治体の責務です。一方、杉並区は国民健康保険料の連続値上げや児童館・ゆうゆう館等の大規模な削減を強行しています。さらに、街を壊す都市計画道路整備や駅前再開発にも莫大な税金が投入されています。



田中区長の区政私物化も深刻です。

党区議団調査により、昨年の緊急事態宣言下にて田中区長が公用車を使用し群馬県のゴルフ場に移動、区の利害関係者を含む区内経済団体と飲酒・会食、宿泊等をした問題が明らかとなり、全国的に取り上げられました。

Nスタ。



### 年末、新型コロナ対策の拡充等を求め 第10回緊急申し入れを実施

12月24日、日本共産党杉並区議団は第10回目となる新型コロナ対策に関する緊急の申し入れを行ないました。オミクロン株の市中感染が国内でも確認されるなか、長期化するコロナ過で区民生活や事業者の営業は深刻化しています。年末年始の閉庁期間中の相談体制の確立や、第6波に備えた体制強化、来年度の国保料・後期高齢者医療保険料の値上げ中止等を要請しました。



党区議団6名で緊急の申し入れ。

### 区政のチェック機能 住民目線の提案と論戦

党区議団は、杉並区政のチェック機能の役割を果たし、徹底調査に基づき、住民目線・住民の立場でこれらの問題を追及してきました。

さらに、昨年、私たちは高齢者の補聴器購入費助成に関する条例提案を行ない、住民福祉の向上に向けた取り組みの拡充を求めました。今議員任期で住民生活に関わる条例提案を行なったのは、杉並区議会でも唯一、日本共産党杉並区議団だけです。コロナ危機を乗り越え、区民が主人公の区政を目指して、本年も全力を尽くします。みなさんのご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願ひします。

# 2021年を振り返って 区政のチェックと提案

## 西荻北・善福寺児童館廃止

西荻北・善福寺両児童館の廃止に関わる議案が提案され、廃止の問題点を指摘し児童館存続を求めました。両児童館廃止計画は、区立施設再編整備計画等に示されておらず、突如として2020年末に廃止方針が出されました。計画にも位置付けられず、パブリックコメント等の手続きも経ておらず、住民が計画に対して意見を上げる機会が無いまま廃止が決定されたことは、住民の「参画」と「協働」を位置付けた自治基本条例に明確に反することです。手続き上も重大な瑕疵があり、重大な問題ですが、両児童館の廃止議案についても区長与党会派が賛成し、強行されました。



善福寺(左)西荻北(右)両児童館

## 徹底調査で区政私物化を追求

区長と区幹部が緊急事態宣言中に群馬県のゴルフ場で取引事業者と酒席を設けていたことが独自調査で発覚(表面)。多くのメディアに取り上げられました。例年、ゴルフもプレイしており、酒席や交通費に税金が使われている問題を告発し、追及しました。

## 区政のチェック機能として

党区議団は杉並区議会のチェック機能として、徹底した調査に基づき、住民目線・住民の立場で論戦に取り組んでいます。コロナ禍のもと、住民サービスの後退に歯止めをかけ、税金の使途を正す役割が鋭く求められています。

## コロナ禍に国保料連続値上げ

コロナ禍の長期化で住民の暮らし向きに影響を及ぼしている時に、区長が国民健康保険料の一人当たり年間3,716円の値上げを提案しました。党区議団は国保料の値上げ中止を提案。私の質疑で繰入金を8千万円余、上乘せすれば、少なくとも今年度の保険料を据え置きできることが明らかとなりました。しかし、区長与党会派が値上げに賛成し、強行されました。

### 国保料値上げ議案に対する各会派(議席数)賛否

会派	自民 15	公明 7	共産 6	立民 5	平和 4	無維 4	共生 1	杉わ 1	正理 1	杉耕 1	無 1	美杉 1	革新 1
賛否	○	○	×	○	○	○	○	欠	欠	○	×	○	×

### 児童館廃止議案に対する各会派(議席数)賛否

会派	自民 15	公明 7	共産 6	連携 6	立民 4	平和 4	無維 4	革新 1
賛否	○	○	×	×	○	○	○	欠

連携の佐々木・木梨両議員は賛成、他4名は反対。立民のひわき議員は採決時に退席。

## 衆院選で野党共闘前進

10月末に行われた衆議院選挙で東京7区、8区両選挙区で野党統一候補が当選しました。8区では立憲民主党の吉田はるみさんが、長年当選してきた自民党現職に勝利しました。日本共産党が市民と野党の共闘を実現すべく、独自の立候補を見送ったことが、当選への追い風となりました。



吉田はるみ候補と日本共産党の上保まさたけ元候補が市民とともに街宣。

## くらし応援の積極提案

### 23区での高齢者施策の実施状況

	入費補助 補聴器購	カー シルパー	配車サービス による見守り	会食 サービス	家賃等 住宅支援
千代田	●		●	●	●
中央	●	▲	●	●	●
港	●	●	●	●	●
新宿	●	●	●	●	●
文京	●	●	●	●	●
台東	●	●	●	●	●
墨田	●	●	●	●	●
江東	●	●	●	●	●
品川					●
目黒			●	●	●
大田	●		●	●	●
世田谷	●		●	●	●
渋谷	●		●	●	●
中野			●	●	●
杉並	●		●	●	●
豊島			●	●	●
北			●	●	●
荒川	●	●	●	●	●
板橋	●	●	●	●	●
練馬	●	▲	●	●	●
足立	●	●	●	●	●
葛飾	●	●	●	●	●
江戸川	●	●	●	●	●

17区実施※ 13区実施 18区実施 14区実施 13区実施

## 補聴器購入助成を条例提案

党区議団は、杉並区の高齢者施策が23区でも不十分な点を調査し(左表)、高齢者の補聴器購入費助成の実現に向け、条例提案を行ないました。

住民生活に関わる条例提案を行なっているのは党区議団だけです。

残念ながら、区長与党の反対で否決されましたが、今後も実現に向けて力を尽くします。